



自習&ハンズオントレーニング資料 System Recovery 18 サポート情報

ベリタステクノロジーズ合同会社
テクノロジーセールス&サービス本部

免責事項

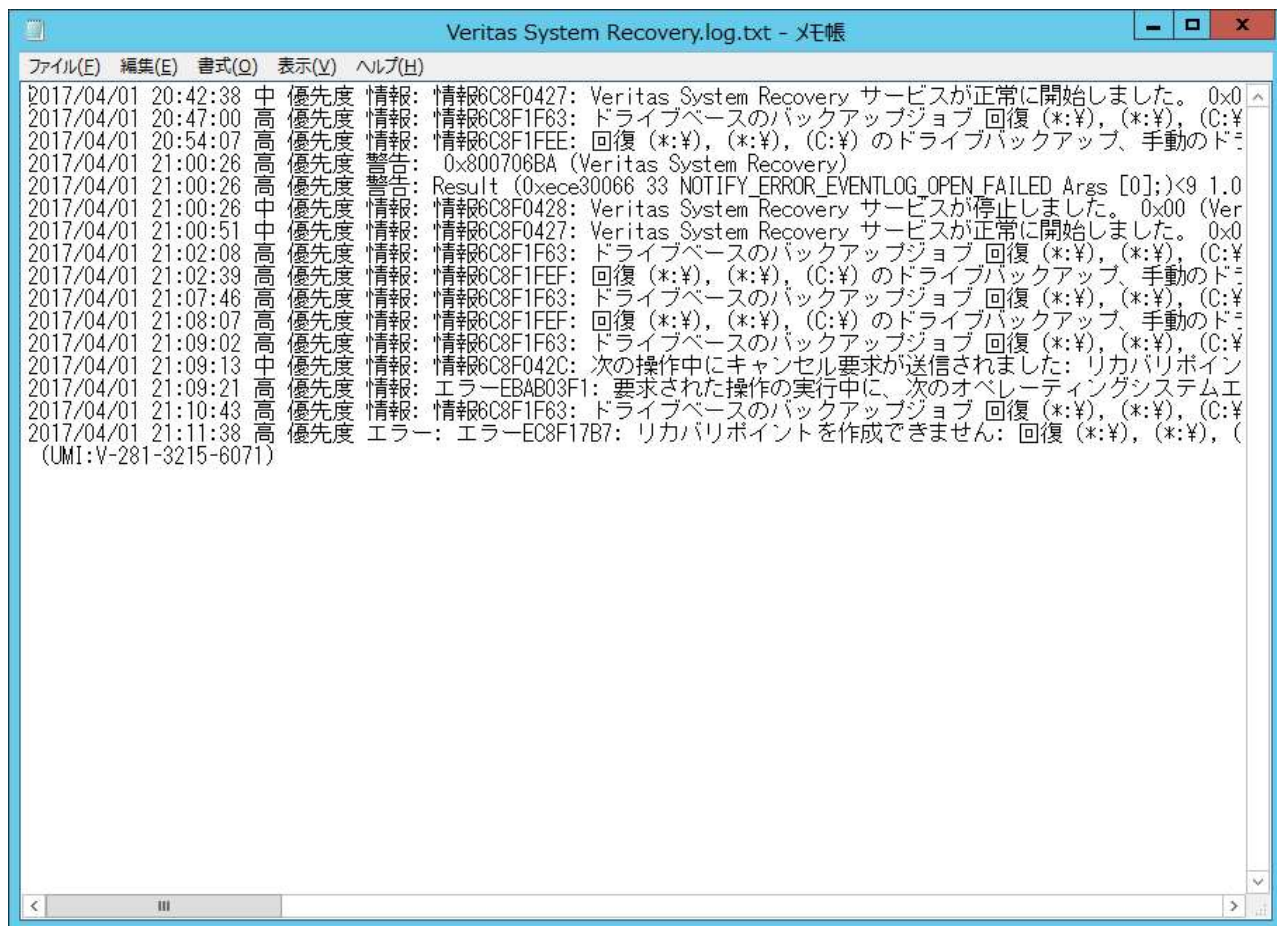
- ベリタステクノロジーズ合同会社は、この文書の著作権を留保します。また、記載された内容の無謬性を保証しません。
- Veritas の製品は将来に渡って仕様を変更する可能性を常に含み、これらは予告なく行われることもあります。
- なお、当ドキュメントの内容は参考資料として、読者の責任において管理/配布されるようお願いいたします。二次利用される場合、弊社はその成果物に対して責任を負いません。

目的

本資料の受講で、以下が可能となります。

- **System Recovery** でのエラー発生時の確認など、サポートに問い合わせる際に必要な基本的知識が習得できます。

System Recovery のログ



```
Veritas System Recovery.log.txt - メモ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
2017/04/01 20:42:38 中 優先度 情報: 情報6C8F0427: Veritas System Recovery サービスが正常に開始しました。 0x0
2017/04/01 20:47:00 高 優先度 情報: 情報6C8F1F63: ドライブベースのバックアップジョブ 回復 (*:¥), (*:¥), (C:¥)
2017/04/01 20:54:07 高 優先度 情報: 情報6C8F1FEE: 回復 (*:¥), (*:¥), (C:¥) のドライブバックアップ、手動のド
2017/04/01 21:00:26 高 優先度 警告: 0x800706BA (Veritas System Recovery)
2017/04/01 21:00:26 高 優先度 警告: Result (0xce30066 33 NOTIFY_ERROR_EVENTLOG_OPEN_FAILED Args [0];)<9 1.0
2017/04/01 21:00:26 中 優先度 情報: 情報6C8F0428: Veritas System Recovery サービスが停止しました。 0x00 (Ver
2017/04/01 21:00:51 中 優先度 情報: 情報6C8F0427: Veritas System Recovery サービスが正常に開始しました。 0x0
2017/04/01 21:02:08 高 優先度 情報: 情報6C8F1F63: ドライブベースのバックアップジョブ 回復 (*:¥), (*:¥), (C:¥)
2017/04/01 21:02:39 高 優先度 情報: 情報6C8F1FEF: 回復 (*:¥), (*:¥), (C:¥) のドライブバックアップ、手動のド
2017/04/01 21:07:46 高 優先度 情報: 情報6C8F1F63: ドライブベースのバックアップジョブ 回復 (*:¥), (*:¥), (C:¥)
2017/04/01 21:08:07 高 優先度 情報: 情報6C8F1FEF: 回復 (*:¥), (*:¥), (C:¥) のドライブバックアップ、手動のド
2017/04/01 21:09:02 高 優先度 情報: 情報6C8F1F63: ドライブベースのバックアップジョブ 回復 (*:¥), (*:¥), (C:¥)
2017/04/01 21:09:13 中 優先度 情報: 情報6C8F042C: 次の操作中にキャンセル要求が送信されました: リカバリポイン
2017/04/01 21:09:21 高 優先度 情報: エラーEBAB03F1: 要求された操作の実行中に、次のオペレーティングシステムエ
2017/04/01 21:10:43 高 優先度 情報: 情報6C8F1F63: ドライブベースのバックアップジョブ 回復 (*:¥), (*:¥), (C:¥)
2017/04/01 21:11:38 高 優先度 エラー: エラーEC8F17B7: リカバリポイントを作成できません: 回復 (*:¥), (*:¥), (
(UMI:V-281-3215-6071)
```

System Recoveryの動作を確認するための基本的なログは、

Veritas System Recovery.log.txt

になります。

パスは、OS、バージョンなどにより異なります。

例)
C:¥ProgramData¥Veritas¥VERITAS SYSTEM RECOVERY¥LOGS

System Recovery のログ

2017/04/01 21:11:38

Medium Priority Warning:

エラー-EC8F17B7:

リカバリポイントを作成できません:

エラー-E7D10041:

¥¥be16aws¥v2i へのネットワーク接続を確立できません。

エラー-EBAB03F1:

要求された操作の実行中に、次のオペレーティングシステムエラーが発生しました: 「同じユーザーによる、サーバーまたは共有リソースへの複数のユーザー名での複数の接続は許可されません。

サーバーまたは共有リソースへの以前の接続をすべて切断してから、再試行してください。」

0xE7D10041 (Veritas System Recovery)

左は見やすく成形したエラー (Error) のサンプルです。

赤い線で囲ったエラーコードや、メッセージ内容から調査します。

※)ログファイルには、エラー以外にも

情報	Info
警告	Warning

等の情報も記録されます。

System Recovery のログ

イベントログ

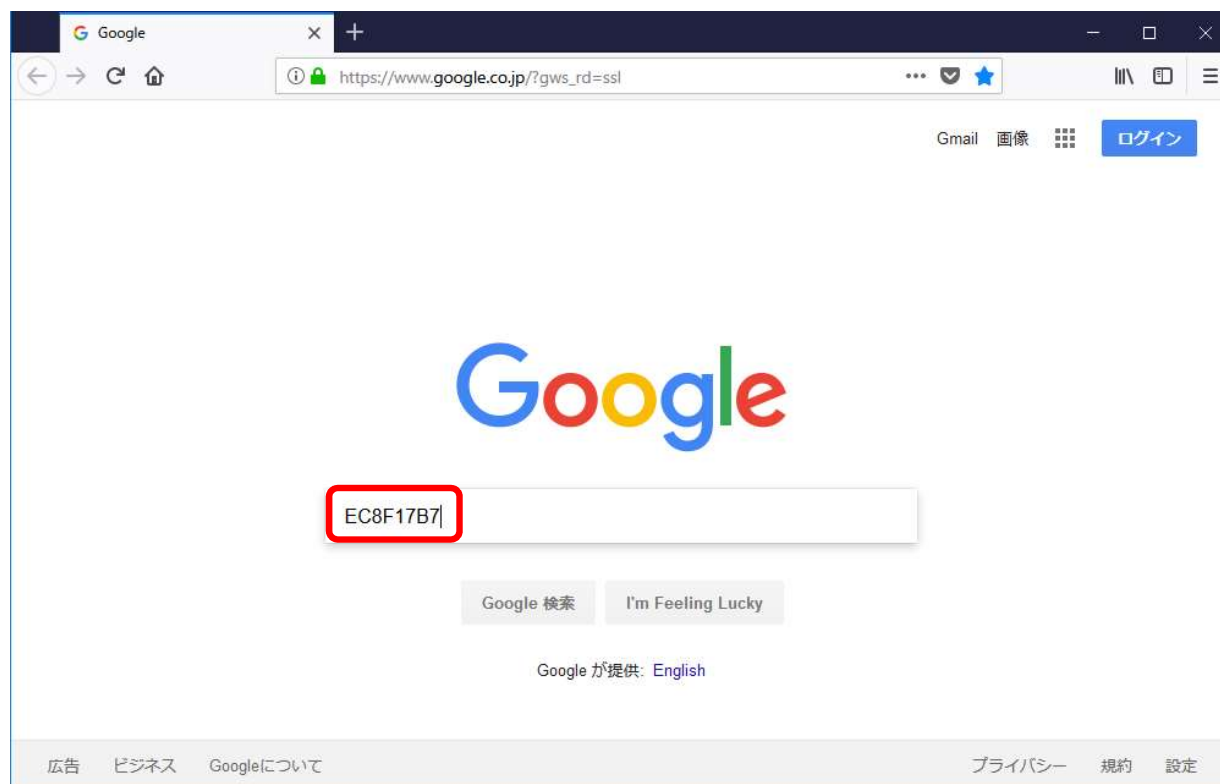
SMTP

SNMP

ログファイル以外にも、
左図のような方法で
System Recovery は監視
できます。

※)詳細手順は管理者ガイド参照

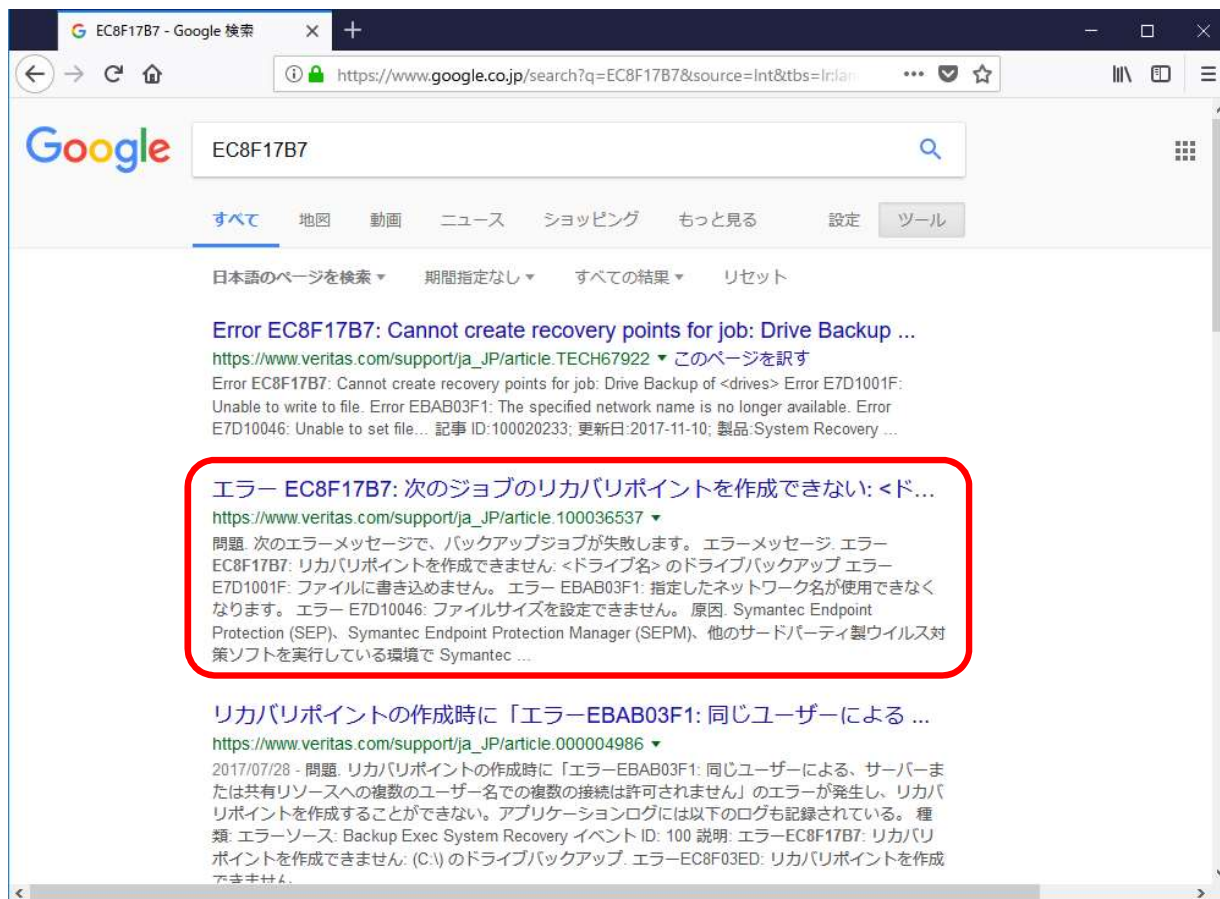
エラーの検索例 Google



当社はWEB上で技術情報 (Technote)を一般公開しているため、エラーコードを検索すると、情報が存在することが多いです。

System Recoveryの場合、まず先ほどのエラーコードで検索してみます。

エラーの検索例 Google



左図のように、情報が確認できます。

ここでは、日本語の技術情報を確認してみます。

System Recovery の技術情報の例

エラー EC8F17B7: 次のジョブのリカバリポイントを作成できない: <ドライブ>のドライブバックアップ。エラー E7D1001F: ファイルへの書き込みができない。エラー EBAB03F1:...

記事 ID: 100036537 | 更新日: 2017-07-13 | 製品: System Recovery

問題

次のエラーメッセージで、バックアップジョブが失敗します。

エラーメッセージ

エラー EC8F17B7: リカバリポイントを作成できません: <ドライブ名>のドライブバックアップエラー E7D1001F: ファイルに書き込めません。

エラー EBAB03F1: 指定したネットワーク名が使用できなくなります。

エラー E7D10046: ファイルサイズを設定できません。

原因

Symantec Endpoint Protection (SEP)、Symantec Endpoint Protection Manager (SEPM)、他のサードパーティ製ウイルス対策ソフトを実行している環境で Symantec System Recovery (SSR) または Backup Exec System Recovery (BESR) を使用すると、バックアップジョブに失敗する場合があります。エラー「EBAB03F1: 指定したネットワーク名が使用できなくなります」は、通常、ウイルス対策ソフトの通信遮断による遅延書き込みエラーが原因で発生します。通常、バックアップエラーは、ジョブの実行中に不規則に発生します。ウイルス対策ソフトに加え、ファイアウォールアプリケーションによりトラフィックがブロックされ、ジョブの失敗が発生する場合があります。

解決方法

左図が先ほどの技術情報を開いた例です。

頻出であったり、重要な技術情報は日本語訳されている場合もあります。

System Recovery の技術情報の例

VERITAS サポート

Article Languages

- German
- Chinese (Simplified)
- Korean
- Portuguese (Brazil)
- Japanese
- Italian
- French
- Spanish

Error EC8F17B7: Cannot create recovery points for job: Drive Backup of Error E7D1001F: Unable to write to file.

記事 ID: 100020233 | 更新日: 2017-11-10 | 製品: System Recovery

Problem

Backup job fails with the following error message.

Error Message

Error EC8F17B7: Cannot create recovery points for job: Drive Backup of Error E7D1001F: Unable to write to file.
Error EBAB03F1: The specified network name is no longer available.
Error E7D10046: Unable to set file size.

Cause

On occasion, backup jobs may fail when using Symantec System Recovery (SSR) or Backup Exec System Recovery (BESR) in an environment also running Symantec Endpoint Protection (SEP), the Symantec Endpoint Protection Manager (SEPM), or other 3rd party antivirus solutions. The error "EBAB03F1: The specified network name is no longer available" is typically due to the antivirus blocking communications causing a Delayed Write Failure. The backup failures are usually at a random percentage during the job. In addition to antivirus, any firewall application can also block traffic causing job failures to occur.


Solution

To troubleshoot the error, perform the following steps:

1. Ensure network issues are resolved <https://www.veritas.com/docs/000089800>
2. Use NetMon and Wireshark to determine if there is packet loss, firewall blocking, etc.
3. Open the System Log in the Windows Event Viewer and look for Delayed Write Failures.

Feedback

言語の変更により、機械翻訳にて日本語表示を利用できます。

言語変更用のアイコン  をクリックすると、選択可能な言語が表示されます。

System Recovery の技術情報の例

左図のように、翻訳結果が表示されます。

The screenshot shows a web browser window displaying a Veritas support article. A modal window titled "Translated Content" is overlaid on the page. The modal contains a disclaimer in English and Japanese, followed by a table of contents for the translated article. The article title is "Error EC8F17B7: Cannot create recovery point for <drives> Error E7D1001F: Unable to set file...". The table of contents includes sections for "問題" (Problem), "エラー メッセージ" (Error Message), "原因" (Cause), and "ソリューション" (Solution). The "Solution" section lists a step: "1. ネットワークの問題が解決された<https://www.veritas.com>".

Translated Content

Please note that this document is a translation from English, and may have been machine-translated. It is possible that updates have been made to the original version after this document was translated and published. Veritas does not guarantee the accuracy regarding the completeness of the translation. You may also refer to the English Version of this knowledge base article for up-to-date information.

問題

バックアップジョブは、次のエラー メッセージで失敗します。

エラー メッセージ

エラー EC8F17B7: ジョブの回復ポイントを作成できません; エラー E7D1001F のバックアップのドライブ: ファイルに書き込むことができません。
エラー EBAB03F1: 指定されたネットワーク名が利用可能ではありません。
エラー E7D10046: ファイルのサイズを設定することができません。

原因

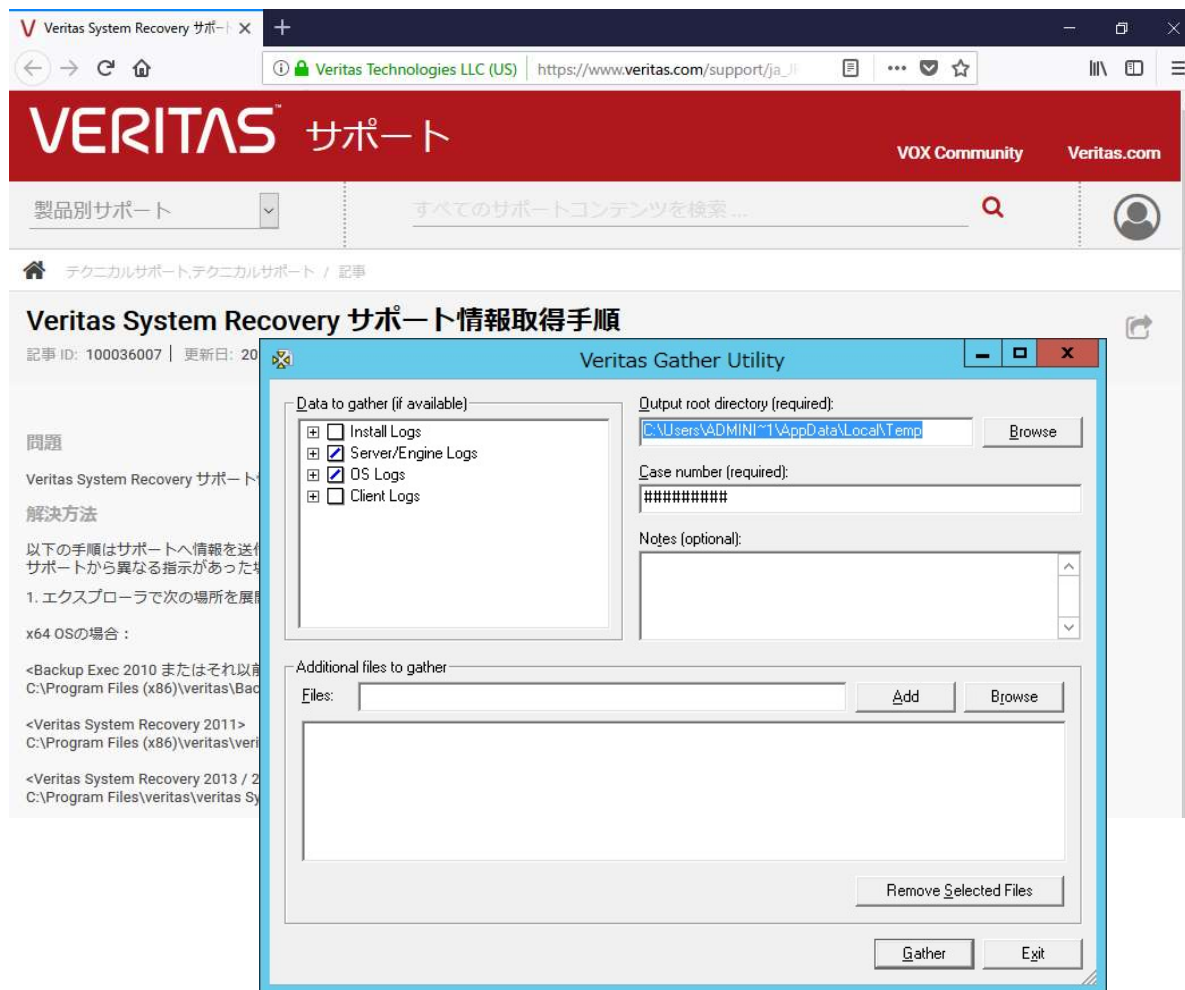
Symantec Endpoint Protection Manager (SEPM) では、Symantec Endpoint Protection (SEP) もを実行している環境では、シマンテック社のシステム回復 (SSR) または Backup Exec システム回復 (BESR) を使用するときバックアップジョブが失敗する場合によっては、または、その他のサードパーティ ウィルス対策ソリューションです。エラー EBAB03F1: 指定されたネットワーク名が利用できなくなった遅延書き込みエラーが発生してウィルス対策遮断通信のため、通常はします。バックアップのエラーは通常、ランダムな割合で、ジョブの実行中です。ウィルス対策ソフトウェア、に加えてファイアウォールアプリケーションは、トラフィックが発生するジョブの失敗の原因をもブロックできます。

ソリューション

エラーをトラブルシューティングするには、次の手順を実行します。

1. ネットワークの問題が解決された<https://www.veritas.com>

診断ログファイルを収集する方法



Veritas System Recovery サポート情報取得手順
<http://www.veritas.com/docs/100036007>

実際のサポートへの問い合わせの際には、各種情報の提供が必要となります。

System Recoveryの一般的なサポート用情報としては、左図の技術情報に記載されているツールで収集するログ類があります。

※)インストールフォルダ内の
Utility¥SupportGather.exe

実際のサポート対応時には、弊社サポート担当者から採取タイミングの指示や、他の情報採取を依頼される場合もあります。

VERITAS™

ありがとうございました

ベリタステクノロジーズ合同会社
テクノロジーセールス&サービス本部

Copyright © 2018 Veritas Technologies LLC. All rights reserved. Veritas and the Veritas Logo are trademarks or registered trademarks of Veritas Technologies LLC or its affiliates in the U.S. and other countries. Other names may be trademarks of their respective owners.

This document is provided for informational purposes only and is not intended as advertising. All warranties relating to the information in this document, either express or implied, are disclaimed to the maximum extent allowed by law. The information in this document is subject to change without notice.

2018年2月版